

2022年度第2四半期 決算説明資料



アーケランズ株式会社

東証プライム [証券コード：9842]

2022年10月4日

2022年9月21日オープン スーパービバホーム八王子多摩美大前店

売上高 1,599億円

計画比：94.6% 前期比：99.0%

経常利益 123億円

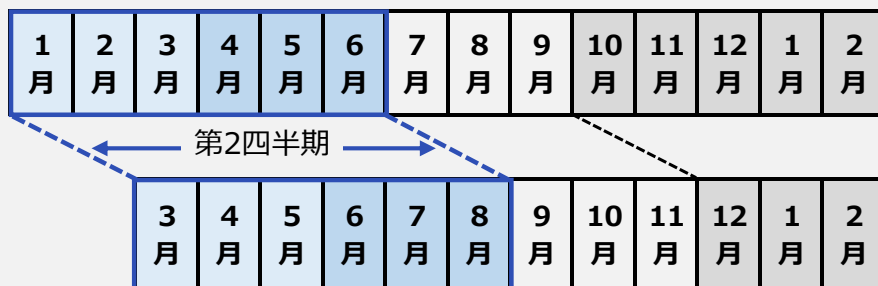
計画比：85.1% 前期比：96.9%

※前期比は今年度からの決算期の変更及び「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

21年度と22年度で対象期間が異なる

ビバホーム (2022/3/1～8/31)

…21年度 2Qは2021/1/1～6/30



アークランドサカモト (2022/3/1～8/31)

…21年度 2Qは2021/2/21～8/20

「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響額

(単位：億円)

	2022年度2Q連結
売上高	-41.7
売上総利益	-6.1
販売管理費	-6.5
営業利益	+0.4
経常利益	+0.4
親会社株主に帰属する当期純利益	+0.2

小売事業

アークランドサービス (2022/1/1～6/30)

- ・主力商品の訴求強化
 - ・テイクアウトの利便性向上
 - ・販売促進
- ▶ 圧倒的な商品力
テイクアウトの強化

外食事業

6/30時点店舗数

- かつや : 508店舗 (出店数10、退店数1)
- からやま/縁 : 179店舗 (出店数8、退店数6)
- その他 : 62店舗 (出店数2、退店数9)

連結損益計算書

(単位:億円・%)

	2022年度2Q						
	連結	構成比	計画比	前期比 ^{※1}	アーランド サカモト	参考 ^{※2} ビバホーム	アーランド サービス
売上高	1,599	100.0	94.6	99.0	406	977	221
売上総利益	603	37.8	92.2	99.6	136	349	113
営業収入	67	4.2	99.9	115.6	17	48	-
営業総利益	670	42.0	92.9	101.0	153	398	113
販売管理費	552	34.6	96.1	100.2	109	338	89
営業利益	118	7.4	80.6	104.6	44	59	23
経常利益	123	7.7	85.1	96.9	50	55	28
親会社株主に 帰属する当期純利益	74	4.6	86.1	53.1	33	41	17

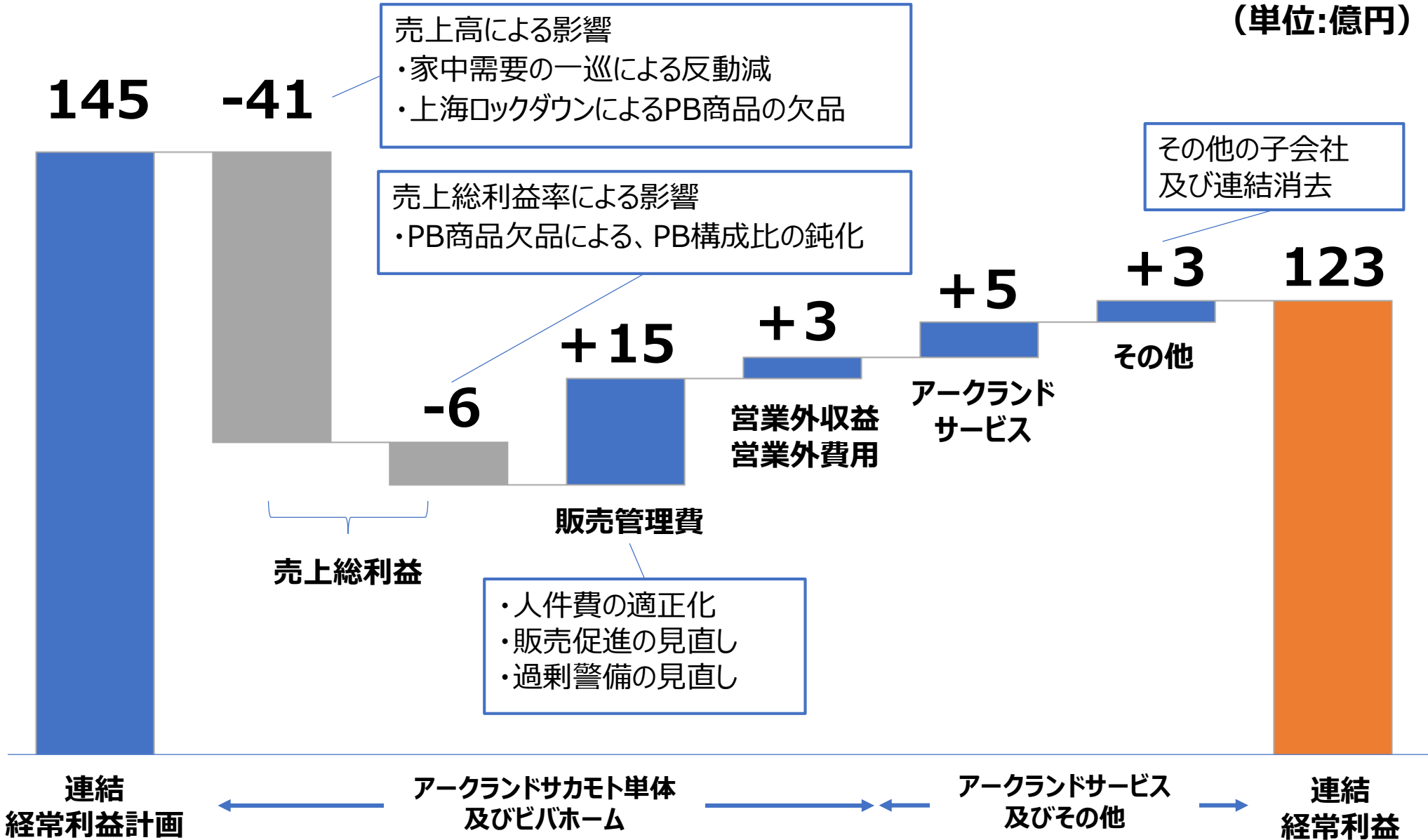
ビバホーム買収に伴うのれん等償却費（2021年度2Q 約10億円、2022年度2Q 約10億円）

※1：今年度からの決算期の変更及び「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

※2：連結消去前の参考値となります。

連結経常利益 要因分解（計画差）

（単位：億円）



セグメント別売上高及び営業収入

ARCLANDS

(単位:億円・%)

	2021年度 2Q	2022年度 2Q	前期比※
連結売上高	1,614	1,599	99.0
小売事業	1,362	1,344	98.7
アークランドサカモト	379	352	92.9
ビバホーム	969	975	100.6
その他	14	16	118.3
卸売事業	37	30	79.9
外食事業	210	220	104.8
その他	4	4	104.2
連結営業収入	57	67	115.6
不動産事業	54	63	116.3
アークランドサカモト	15	16	109.3
ビバホーム	39	46	119.8
その他	3	3	105.6

※：今年度からの決算期の変更及び、「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

ホームセンター部門品目別売上高

(単位:億円・%)

	2022年度2Q					
	連結	構成比	アークランド サカモト	構成比	ビバホーム	構成比
ホームセンター 部門合計	1,297	100.0	317	100.0	966	100.0
DIY関連 商品	454	35.0	89	28.3	350	36.3
家庭用品	416	32.1	94	29.6	322	33.4
カー・レジャー 用品	105	8.2	36	11.4	69	7.2
ペット・園芸 用品	320	24.7	96	30.5	223	23.1
その他	0	0.0	0	0.2	0	0.0

連結貸借対照表

(単位:億円)

	2021年度末	2022年度2Q	増減	主な増減要因
流動資産	969	986	16	
商品及び製品	505	538	33	
固定資産	2,747	2,719	-28	
有形固定資産	2,012	1,995	-17	
無形固定資産	368	355	-13	
資産合計	3,717	3,705	-11	
流動負債	1,470	1,134	-336	
買掛金及び電子記録債務	447	395	-51	
短期借入金	561	380	-181	長期借入金への借換え
1年内返済長期借入金	270	130	-140	
固定負債	1,173	1,421	248	
長期借入金	565	820	255	短期借入金からの借換え
負債合計	2,643	2,556	-87	
純資産合計	1,074	1,149	75	
負債純資産合計	3,717	3,705	-11	

連結キャッシュ・フロー



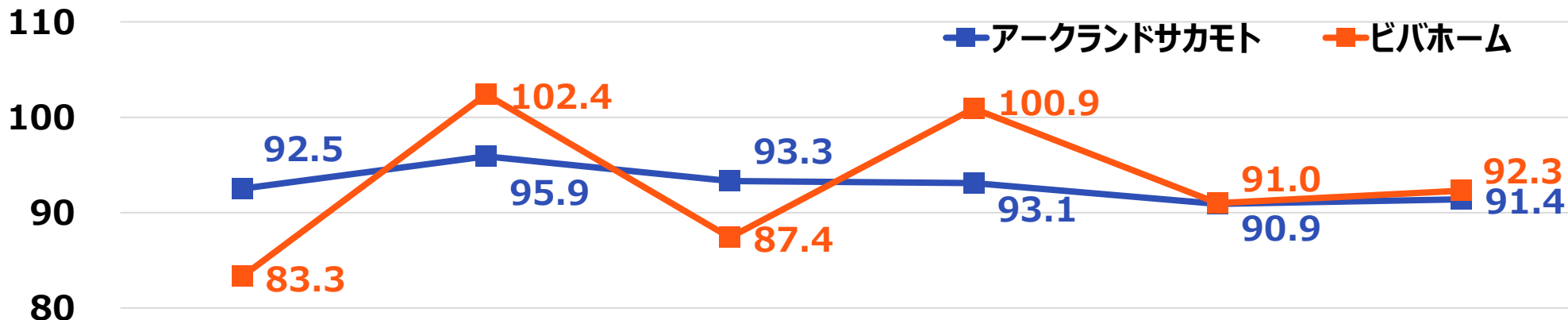
(単位:億円)

	2021年度2Q	2022年度2Q	増減	当期実績の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	119	111	-8	税金等調整前当期純利益124 減価償却費53 棚卸資産の増減額-33 法人税等の支払額-36
投資活動による キャッシュ・フロー	-115	-67	+47	有形固定資産の取得による支出-118 有形固定資産の売却による収入49
財務活動による キャッシュ・フロー	18	-85	-104	短期借入金の純増減額-181 長期借入による収入280 長期借入金の返済による支出-165
現金及び現金等物 の増減額	23	-41	-64	
現金及び現金等物 の四半期末残高	279	262	-17	
フリーキャッシュ・フロー	4	43	+39	

既存店売上高 前年同月比

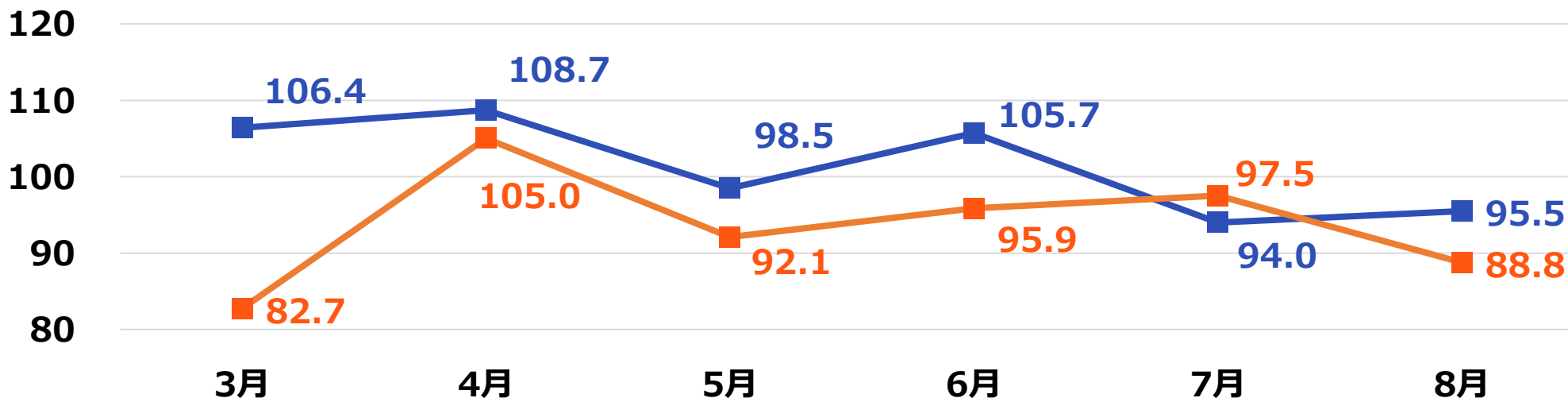
前年比

(単位:%)



※「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響額や決算期変更を考慮しない概算値。

参考：2019年比



※2019年比は当年度、2021年度当時、2020年度当時の売上高前年比を乗算し10000で徐して算出した参考値。

中期経営計画の進捗



NICO PET八王子多摩美大前店

ARCLANDS

よりスピーディかつ効果的なシナジー創出のため
当初予定のホールディング体制ではなく、合併を選択

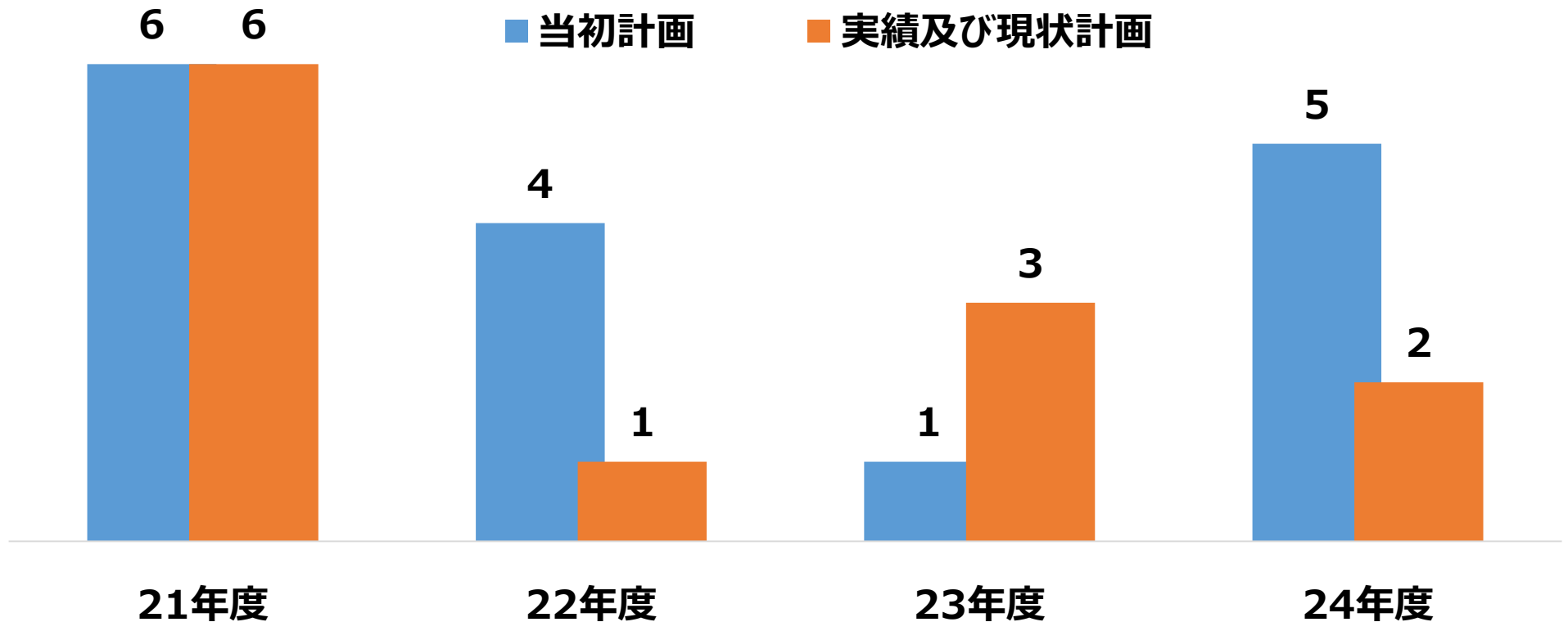
くらし、満たす。こころ、満たす。



業界をリードする生活価値提供グループを目指す私たちは
現場主義に徹して専門性を極め、独自の進化と変化を続けることで
私たちとつながるすべての人とともに、成長します

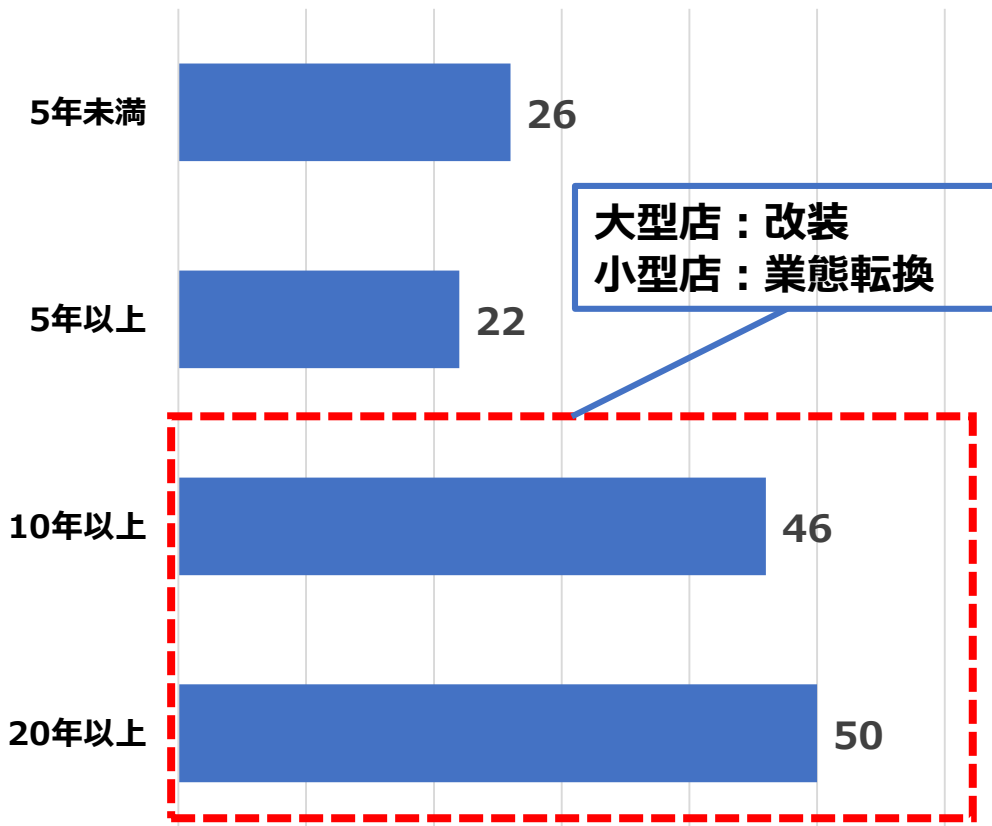
出店計画を見直し、新店・既存店にバランスよく投資を行う

- ・2,500～4,000坪規模⇒5,000坪をベースに専門性を強化
- ・新店傾注⇒既存店の活性に注力



利益を支える営業年数の長い店舗を活性化、小型店は業態転換へ

店舗数と営業年数



リニューアル実績と計画

①全店を対象に店舗環境整備

- ・店舗：外回り、駐車場整備
- ・売場：回遊性、視認性の改善

88店舗完了、56店舗今年度中完了予定

②重点店舗の改装

	2Q実績	下期予定	23年度予定
部分改装	2	13	4
全面改装	2	1	1
専門店導入	1	2	1
業態転換	1	小型店を対象に計画	

今期以降の出店予定

オープン時期		店舗名
22年9月21日		スーパービバホーム八王子多摩美大前店
23年度	上期	ホームセンタームサシ御経塚店（仮称）
	下期	ホームセンタームサシ（移転増床：新潟県内）
		スーパービバホーム湘南平塚店（仮称）
24年度	上期	ホームセンタームサシ長野須坂店（仮称）
	下期	スーパービバホーム茨木南目垣店（仮称）

ペットコーナーの専門店化推進、ビバホームのプロショップ1号店を出店

NICO PET化推進



7月:スーパービバホーム三郷店ペットコーナーを専門店化

下期：新店1店舗、既存店2店舗を計画

ビバホームプロ初出店



8月:ホームセンター ビバホーム日高店を業態転換
ビバホームプロ日高店にリニューアル

今後小型店を中心に業態転換を計画

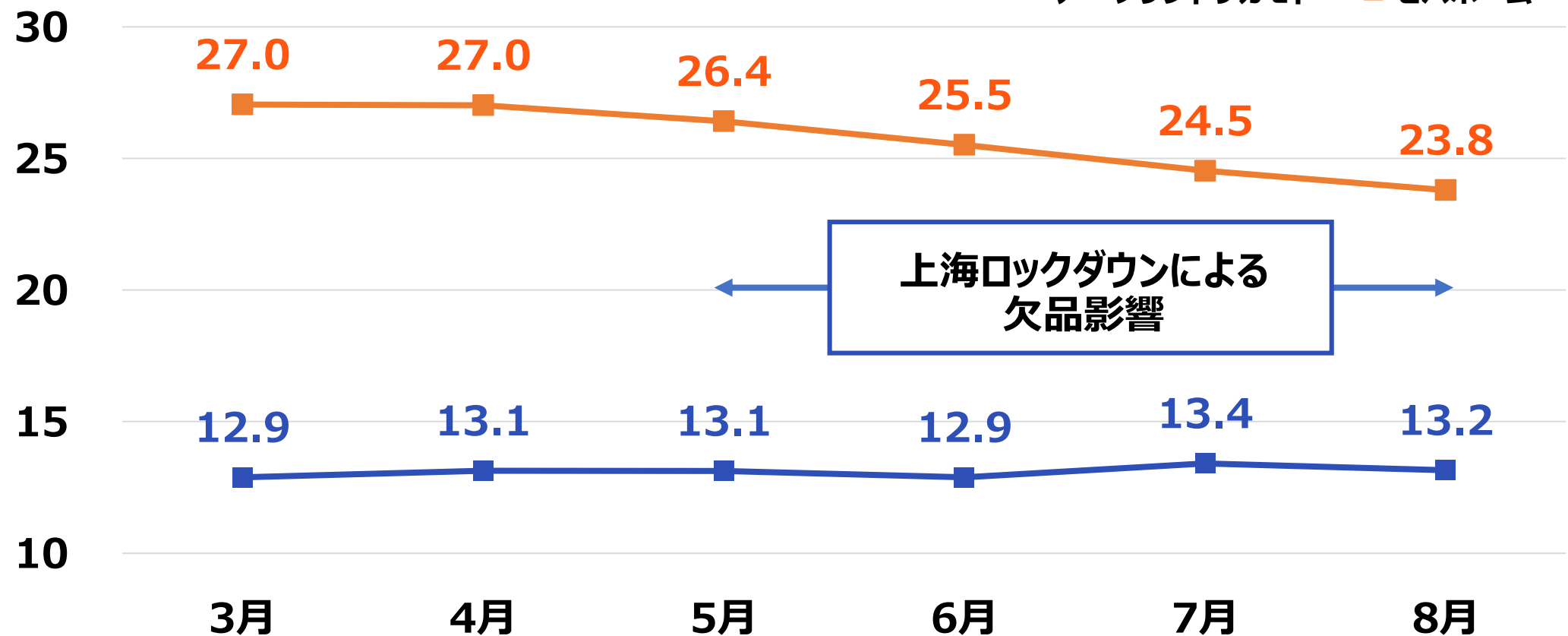
PB売上構成比率向上①

2Q累計のPB売上構成比はアークランドサカモト13.1%、ビバホーム25.7%

PB売上構成比推移

(単位:%)

■アークランドサカモト ■ビバホーム



上海ロックダウンによる
欠品影響

複数ある商品ブランドをWIZ'AとNICO PETの2ブランドに統一し展開

統一ブランド

WIZ'A新商品

ペット以外

WIZ'A®

WITH ARCLANDS : 私達と一緒に。

ペット系



10月よりホームセンタームサシ、
ビバホームで販売開始

同一商品の取引先統一

- ・合併により、2社共同仕入れから1社仕入へ
- ・店舗の品ぞろえ標準化⇒スケールメリット拡大

物流改善

- ・在庫圧縮⇒物流センターの統廃合
- ・物流センター共有
- ・海外調達の同一コンテナ混載輸送

ITシステムの共通化

- ・商品分類統合⇒基幹システム統合
 - ・・・同一店舗オペレーションによる効率化
- ・POS統合
 - ・・・会員システム共有による販促効果拡大

トピックス



みどりのある暮らし
観葉植物
Green
おまかせの完成品は
¥4,980
¥2,980
¥4,276
¥4,902

観葉植物
Green
おまかせの完成品は
¥4,980
¥2,980
¥4,276
¥4,902

◎ 意外！
観葉植物は、高さ1.8m
くらいまでなら
セダンタイプの乗用車
に積むことが可能です。
（両手を後ろに預けて、鉢をシートベルトで固定）
お車への積み込みのお手伝い
お気軽にお声がけ下さい。
積み込みができない場合、ご自宅への配送も承
取ります。

ARCLANDS

ホームセンター×家電量販の総合生活提案型スクエア第2号店

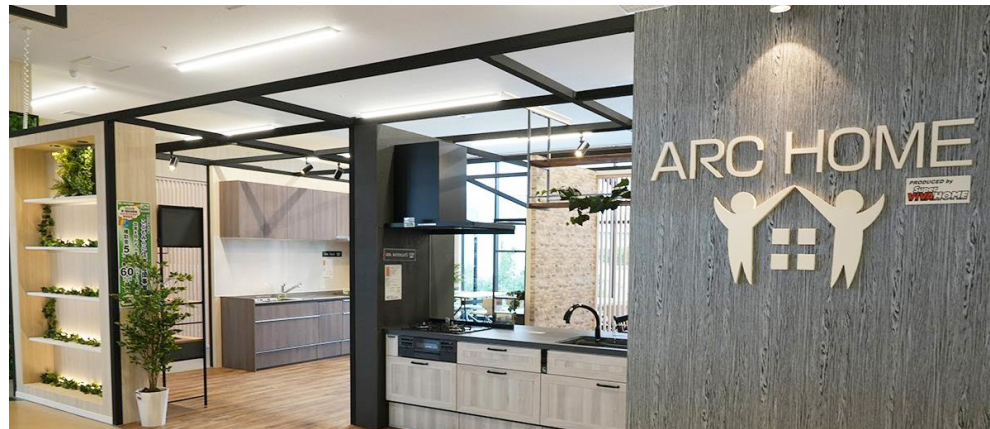


売場総面積：約23,800m² 入店店舗数：16店

ホームセンターに加えて当社直営の専門店を出店



総合ペット専門店 NICO PET



リフォーム専門店 アークホーム



趣味とハンドメイドの店 アークオアシス

当社直営店舗	売場面積（約）
スーパービバホーム	12,000㎡
NICO PET	1,370㎡
アークホーム	580㎡
アークオアシス	1,380㎡

ホームセンターでは、有名メーカーとのコラボレーションを展開



まほう瓶、調理器具のサーモスショップ



刃物、刃研ぎのKAIショップ



文房具のコクヨコーナー



キャンプ用品のキャプテンスタッグコーナー

プラスチックの再資源化

年間40 t 超の廃プラスチックパレットを回収。
再生サイクル用チップに再資源化。



ホームセンター店舗でのプラスチック製品
引き取りと回収の実験を開始。

- ・スーパービバホーム三郷店
- ・スーパービバホーム埼玉大井店

節電の取り組み

店舗・本社で節電キャンペーンを実施

－店内－



1. 店内照明を**一部減灯**しています



2. 冷房温度は**推奨温度**に設定しています



3. 家電、照明等の見本品は**お試しスイッチ**に変更しています

－屋外・その他－



4. 外売場、駐車場の照明は**減灯**しています



5. お客様トイレの便座暖房・温水は**推奨温度**にしています

6. 自動販売機の照明は**消灯**しています

エコプロジェクトへの協賛



- ・エコ活動啓蒙のためのテレビCMを放送
- ・11月に当社協賛イベントを予定

障がい者福祉基金 活用方法の拡大

障がい者福祉の更なる向上を目的に当社による「三条市障がい者福祉基金」の活用方法を拡大

障がい者福祉活動サポート交付金交付式



2022年4月26日 障がい者福祉活動サポート交付金交付式

写真 左：三条市 滝沢亮 市長
右：当社取締役管理本部長 志田光明

災害協定拡大：累計80件



2022年5月20日
「災害時の緊急避難等についての協力に関する協定」協定式

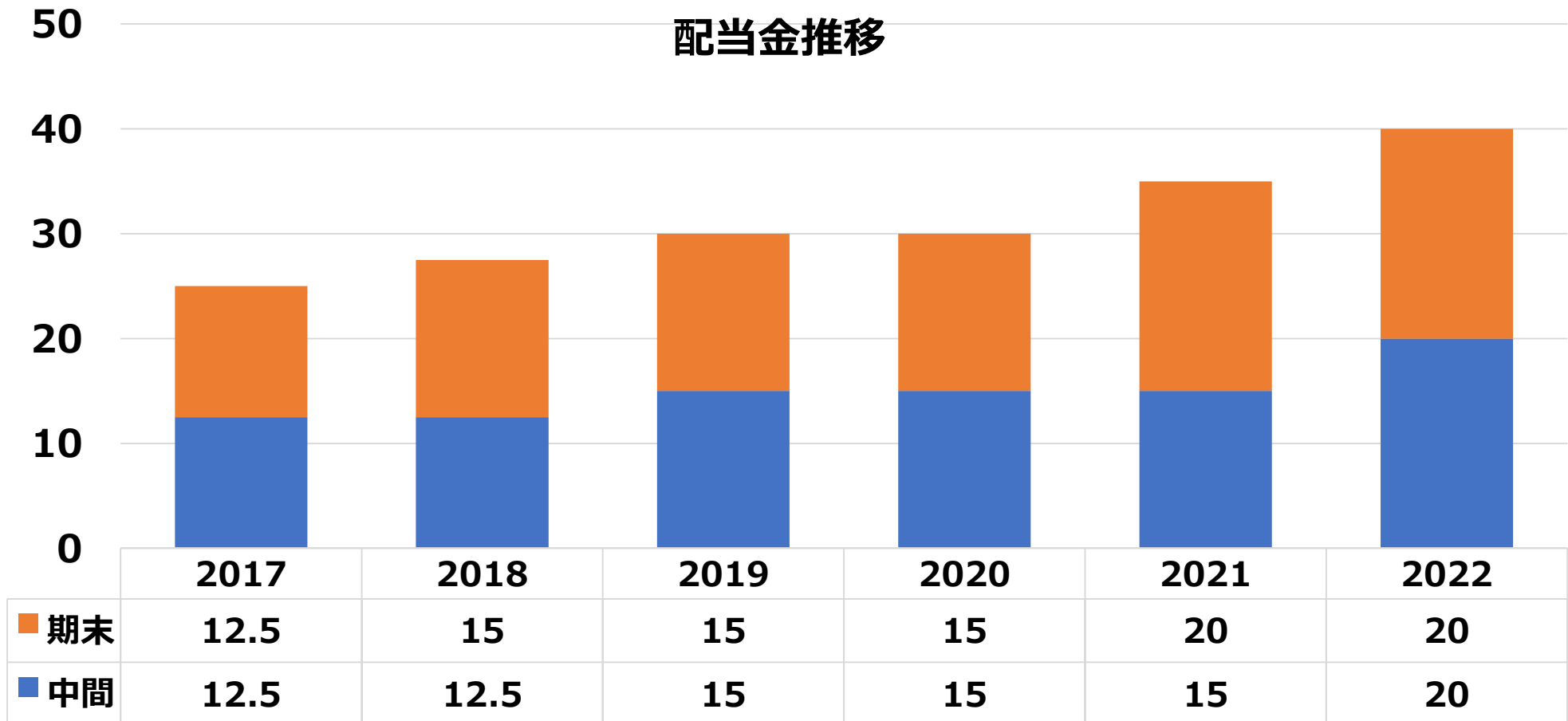
写真 右：吹田市 後藤 圭二 市長
左：摂津市 森山 一正 市長
中：当社取締役開発本部長 星野 宏之

災害対応店舗の拡大：累計25店舗

2022年9月21日 オープン
スーパービバホーム八王子多摩美大前店

合併の記念として中間配当 + 5円を決定
中間配当：20円 期末配当：20円・・・年間40円

配当金推移



小売事業店舗数の増減

	2021年度 期末合計	2022年度 2Q		2022年度期末（予定）	
		21年度末 からの増減	合計	2Q末 からの増減	合計
ホームセンター	145	-1	144	+1	145
ホームセンタームサシ	38	0	38	0	38
スーパービバホーム	63	0	63	+1	64
ビバホーム	44	-1	43	0	43
専門店	73	+2	75	+5	80
NICO PET	7	+1	8	+3	11
リフォーム （アークホーム、R&D）	49	0	49	+1	50
アート&クラフト （アークオアシス、ヴィシース）	13	0	13	+1	14
プロショップ （ムサシプロ・住デポ、ビバホームプロ）	4	+1	5	0	5
その他	23	-1	22	0	22
小売店舗合計	241	+1	240	0	247

くらし、満たす。こころ、満たす。

ARCLANDS

本資料は、企業情報の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されております、将来の業績見通しに関する事項については、開示時点において当社が入手している情報に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。

従いまして、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。